

おつみ少年少女合唱団

入団式 新たに7名の団員が入団

地域の文化活動を支援することを目的に結成した「おつみ少年少女合唱団」の2017年度の入団式が4月8日(土)、大津市の逢見市民センターにて行われ、新年度の活動がスタートしました。

今年は新入団員が7名(本団2名・リトルクラスに5名)新たに加わり、総勢34名となりました。

合唱団では、毎年恒例12月の演奏会がメイン行事となりますが、それ以外にも、滋賀県合唱祭、大津市合唱フェスティバルへの出演、老人福祉施設への訪問演奏、地域行事への参加等、様々な活動をしています。

練習は、毎月3～4回土曜日に行っています。みんな一生懸命練習し、歌うことを通じて年齢や学校を超えた友情も育み、協力してひとつの事を達成する大切さなどを学びながら活動していきます。



入団証書を受け取る入団者
(場所：大津市逢見市民センター)

施設訪問演奏

おつみ少年少女合唱団では毎年「特別養護老人ホーム」への訪問演奏を行っています。

今年は、学校が春休みの3月28日(火)に大津市大石にある「リパブル」と大津市唐崎の「ケアタウンからさぎ」にお伺いし「歌のプレゼント」をしました。

毎年同じ施設に訪問ができるわけではありませんが、一度演奏させていただくと「次はいつ来てくれるかな?」と、楽しみにしてくださっていると聞いています。

喜んでくださる方たち…子どもたちにとっても、とても良い経験になっていると思います。今後も続けていきたい活動のひとつです。



演奏を行うおつみ少年少女合唱団の団員たち
(場所：大津市内特別養護老人ホーム)



団員の感想 寺田 愛 小学校4年生

「施設訪問演奏で歌うのは、今回で2回目です。初めは緊張していたけれど、入所者の皆さんが拍手してくれると嬉しい気持ちになり、楽しく上手に歌えたと思います。入所者の皆さんも最初から最後まで笑顔で聞いてくださり、一緒に歌ってくださって嬉しかったです。皆さんの笑顔のおかげで私たちも笑顔で歌うことができました。毎週、練習を頑張ってきて良かったと思いました。」

ストップ！児童労働！ キャンペーン2017

連合は児童労働ネットワーク (CL-Net) の取り組みの一環として、例年、ストップ！児童労働のキャンペーンに取り組んでいます。レッドカードを掲げる取り組みにご協力ください！

詳しくは下記URLへアクセスしてください！
<http://stopchildlabour.jp/2017/redcard/>



連合滋賀

日本労働組合総連合会滋賀県連合会

2017年5月23日
連合滋賀 第275号
大津市松本2丁目10-6
電話077-523-0500
発行・山田 清
編集・藤本 裕司
(定価 1部6円)
印刷 ヌメディア株式会社

働き方改革を最重点課題に！ 雇用推進行労使会議チャレンジしが



共同宣言を掲げる四者(場所：滋賀県公館)
左から井門(一社) 滋賀経済産業協会会長、三日月滋賀県知事、大山滋賀労働局長、山田連合滋賀会長

「雇用推進行労使会議チャレンジしが」を3月27日(月)、滋賀県公館ゲストルームにおいて開催され、滋賀県、滋賀労働局、連合滋賀、(一社) 滋賀経済産業協会の労使四者によって、「滋賀県雇用推進プラン」に掲げる重点施策について意見交換を行いました。

雇用推進行労使会議では、2016年度に策定した「チャレンジしが滋賀県雇用推進プラン」の7つの柱のうち、経済・地域の活性化に向けて女性の潜在的な能力が発揮される取り組みを加速化するための「女性の活躍推進」および時間外労働や休暇取得促進を図る取り組みとして「働き方改革の推進」と若年者の自立に向けた就業・定着支援と正規雇用拡大の取り組みとして「若年者の就業支援の推進」の3つを最重点課題として取り組んできました。

2017年度は働き方改革を一層推進するための最重要課題として「長時間労働の是正と年次有給休暇の取得促

進」と「全ての人が活躍できる職場環境や多様な働き方の実現」に取り組むとともに、新たに「滋賀県働き方改革推進検討会議」を設置し、迅速な取り組みを実行することとし、『滋賀における働き方改革の推進に向けての共同宣言』を四者により採択しました。

連合滋賀は、政策・制度実現の取り組みとして、すべての労働者を対象にした生活改善・格差是正の運動を強く進めるとともに、時間外労働の削減や育児休業の取得の促進、県内産業を支える若年者の働きやすい環境づくりなどに四者が連携して取り組みを進めていきます。

共同宣言

雇用の推進と働きやすい滋賀を実現させる視点から、働き方改革を推進するため、滋賀県、滋賀労働局、連合滋賀、(一社) 滋賀経済産業協会は、平成27年度から「滋賀県雇用推進プラン」に基づいた各種取組を、着実に実施してきました。このような中、働く環境の改善を求める社会的気運は、これまでにない高まりを見せており、チャレンジしがが担うべき役割も重要なものとなっています。県民の期待に応え、働き方改革を一層推進するため、チャレンジしがは、平成29年度からの最重点課題を

- ①長時間労働の是正と年次有給休暇取得促進
- ②全ての人が活躍できる職場環境や多様な働き方の実現

と位置付け、これらの課題解消への取組として、引き続き「滋賀県雇用推進プラン」をそれぞれの立場でその役割を果たし、緊密に連携して実行するとともに、新たに「滋賀県働き方改革推進検討会議」を設置し、迅速に更なる検討・実行します。

第88回滋賀県労働者統一メーデー 県下4会場で約5,600人が参加



メーデー中央会場（場所：栗東芸術文化会館さくら）

「長時間労働の撲滅、ディーセント・ワークの実現、今こそ底上げ、底支え、格差是正の実現を！」をメインスローガンに第88回滋賀県労働者統一メーデーを開催し、県下4会場で約5,600人が参加しました。

メーデー中央集会は、4月29日、栗東芸術文化会館さくらで、家族連れの組合員など約1,200人が参加されました。

式典では、開催地である第3区地区メーデー実行委員会の又吉賢太郎副実行委員長と中央集会の主催者を代表して、連合滋賀の山田清会長が開会挨拶を行いました。

また、三日月大造滋賀県知事、橋川渉草津市長、田島一成民進党滋賀県連代表、小坂淑子社民党滋賀県連代表をはじめ友誼団体、事業団体から多くの来賓の方々にご臨席いただき、各界を代表してそれぞれの立場でご挨拶いただきました。

その後、メーデースローガンを確認し、メーデー宣言、「長時間労働を是正する取り組みの強化に向けた特別決議」の採択、チャリティー贈呈を行い、瀬川真司実行委員長の発声によるガンバロウ三唱で式典を終わりました。

会場では、第24回「人・自然・やすらぎフェスタ」が開催され、福祉支援バザー、模擬店、抽選会、イベント等が行われ多くの組合員や市民の方で賑わいました。

また、地区メーデーは膳所公園、米原文化産業交流会館、竜王町ドラゴンハットでそれぞれの地域の趣向を凝らした集会が開催されました。



各地区メーデーにも多くの組合員に参加いただきました！

1区



（場所：膳所公園）

2区



（場所：米原文化産業交流会館）

4区



（場所：竜王町ドラゴンハット）

防災政策・情報共有システムを学ぶため熊本・佐賀へ！ 連合滋賀議員団会議 研修・交流会



研修に参加した議員団会員（場所：佐賀県庁）

連合滋賀議員団会議は、議員としての政策能力を高めるべく、4月12日から2日間にかけ、議員研修を実施し、21名が参加いたしました。

1日目は連合熊本を通じ、4月14日で1年が経過する熊本地震について、未だに修復が難航している熊本城を視察、石垣の石ひとつひとつを被災前の写真と照合し元の場所に戻すなど城全体の修復には20年かかる事などの説明を受けました。

視察後、連合熊本推薦議員団の皆さまと意見交換を行い、地震の経験から、災害時に各級議員がどのような行動や役割を果たされ、また今後、災害が起きた際の課題について気づかれた事など、今後の滋賀の防災政策について参考になるご意見をいただき、速く離れた地で、思いを同じくする議員同士の交流を深めました。

2日目は、佐賀県庁を訪れ、先進的に行われているテレワークの取り組みや救急医療現場でタブレット端末を使用して救急搬送先の照会や、どの施設にどんな状況で搬送したかデータを蓄積して可視化する情報共有システム（99さがネット）について導入に尽力された、「県庁そろそろクビですか？」の著者である佐賀県庁職員の円城寺雄氏氏が、システム導入の思いなども含め説明を受けました。



熊本城の被災跡・復旧状況を視察（場所：熊本城）



連合熊本推薦議員団との意見交換（場所：熊本城城彩苑）



佐賀県庁の取組を説明する円城寺氏（場所：佐賀県庁）

雨にも負けず！みんなで田植え！ アジア・アフリカ支援米 田植えボランティア

アジア・アフリカ支援米滋賀県実行委員会（連合滋賀と食とみどり、水を守る滋賀県民会議で構成）では、組合員やそのご家族、議員団をはじめとする、46名のボランティアの参加のもと、今年も飢餓で苦しむ人たちに送るためのお米を作るために、手植えでの田植を5月13日（土）に大津市仰木の田んぼにて行いました。

天候の悪い中での田植えとなりましたが、キヌヒカリの苗を昔ながらの手作業により植え、ボランティアに来た子どもたちも泥んこになりながら一生懸命、普段経験できない田植えを楽しみながら行いました。

秋の収穫の際にもぜひ、稲刈り作業のボランティアへのご参加よろしくお願いいたします。



手植えでの田植えをする参加者（場所：大津市仰木の田んぼ）